

レジメン登録フォーマット

申請年月日		使用開始日	平成27年1月1日		
登録診療科	消化器内科・外科		申請医師	化学療法委員会承認年月 平成 年 月	
レジメン名	FP+Radiation(食道がん)(ホスアプレビタント)				
疾患名	食道がん		適応の備考		
適応分類	進行再発				
1コース日数	28	日間	総コース数	2	コース 催吐性リスク 高度
抗がん剤投与量・投与日	シスプラチン70mg/m ² day1、5-FU 700mg/m ² /日 day1-5				

治療スケジュール・投与日程(投与日は●) (day)

投与順	ルート・方法	薬剤名	投与量	投与時間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
1	側管1	生食500mL	1 本 / body		●																											
	点滴静注	KCL注キット(1mEq/mL)	20 mL / body	1 時間	●																											
		硫酸Mg補正液	8 mL / body		●																											
2	側管1	生食500mL	1 本 / body	1 時間	●																											
	点滴静注	フロセミド注 20mg	1 A / body		●																											
3	側管1	生食250mL	1 本 / body	30 分	●																											
	点滴静注	ホスアプレビタント注150mg	1 本 / body		●																											
抗がん剤投与の1時間前に30分かけて点滴																																
4	側管1	ハロセトロン注ハック0.75mg/50mL	1 本 / body	30 分	●																											
	点滴静注	デキサート注射液6.6mg/2ml	1 本 / body		●																											
		デキサート注射液1.65mg/0.5mL	2 本 / body		●																											
5	側管1	生食100mL	1 本 / body		●				●																							
	点滴静注	デキサート注射液6.6mg/2ml	1 本 / body	30 分	●				●																							
6	側管1	生食100mL	1 本 / body					●	●																							
	点滴静注	デキサート注射液6.6mg/2ml	2 本 / body	30 分				●	●																							
7	主ルート	生食500mL	1 本 / body	2 時間	●																											
	点滴静注	シスプラチン	70 mg / m ²		●																											
シスプラチンと同量の生食を抜いてから混注する(合計500mLとする)																																
8	主ルート	生食500mL	1 本 / body		●	●	●	●	●																							
	点滴静注	5-FU	350 mg / m ²	12 時間	●	●	●	●	●																							
9	側管2	生食500mL	1 本 / body		●	●	●																									
	点滴静注	フィジオ140輸液500mL	1 本 / body	1 時間	●	●	●																									
10	主ルート	生食500mL	1 本 / body		●	●	●	●	●																							
	点滴静注	5-FU	350 mg / m ²	12 時間	●	●	●	●	●																							
11	主ルート	生食50mL	1 本 / body	5 分					●																							
	点滴静注																															

※並行して投与する場合は、コメントを入力する。(例:Rp2とRp3を同時に投与開始する。)

【投与上の注意】

シスプラチン:希釈は生食のみ。

シスプラチン:腎毒性軽減のためhydrationが必要。

・ホスアプレビタントは血管痛が報告されているため、溶解には可能な限り生食250mLを使用すること(最低でも100mL以上)。

・ホスアプレビタントは抗がん剤投与の1時間前に30分かけて点滴すること。

・ホスアプレビタントの次に5-HT3受容体拮抗薬+デキサート注を投与して、その次に抗がん剤を投与すること。

RTは、合計約60Gy

総コースは、2コース